

Title	百貨店における派遣店員とプロパー店員のモチベーションと業績に関する比較研究
Sub Title	
Author	所吉彦(Tokoro, Yoshihiko) 関本昌秀
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1991
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1991年度経営学 第859号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001991-0859">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001991-0859</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名	所	吉彦	主査	関本	昌秀
			副査	奥村	昭博
				高木	晴夫
所属	関本	昌秀	研究室		

## 百貨店における派遣店員とプロパー店員の モチベーションと業績に関する比較研究

今日、わが国の百貨店ではメーカー依存体質から脱却し、自主MD商品を中心とした商品を、プロパー店員によって売り切っていくことが必要な時期にきている。そこで本研究では、これを実現可能にするプロパー店員の販売力強化の施策を、派遣店員とプロパー店員の間、モチベーション、能力、役割認知のちがいの分析を通じて模索することを目的としている。

そこで、内容理論に基づいた関本モデルを参考にフレームワークを作成し、百貨店店頭販売従事者に対して質問紙調査を行った。回収された276人分のデータを因子分析、2元配置分散分析および重回帰分析にかけて分析を行った。それによって派遣店員とプロパー店員との間で差のみられる因子を明らかにし、さらによどの因子が業績に最も強い影響をあたえているかを明らかにすることを試みた。その結果、以下のことが判明した。

- (1)百貨店のプロパー店員に比べ、派遣店員は高業績者が多く、また、モチベーション、能力、役割認知に関する諸項目において高いスコアを示していた。
- (2)派遣店員では、モチベーションに強く影響を与えるのは、仕事魅力に関する要因と個人要因であったが、プロパー店員では、会社魅力に関する要因、および個人要因であった。
- (3)派遣店員、プロパー店員とも、業績に強く影響をあたえるのは、能力およびモチベーションであった。

以上の分析に基づき、本研究では、プロパー店員が派遣店員にとって代わり、高い販売業績を上げるためにはどうしたらよいか、何が必要なかを明らかにし、販売力強化のための人事施策を提言している。